ライセンスの一元管理で コンプライアンス強化を実現

多様化する顧客ニーズに最新のデザインツールで対応 スムーズなデータ共有環境で制作速度がアップ

「Creative Cloudの導入により、当社が以前から抱えていた複数の課題を一挙に解決することができました」

専務取締役
テクニカルトランスレーター
大野 慎也氏

ソリューション

Adobe Creative Cloud Complete Plan

導入効果

コンプライアンス強化

正規のデザインツールを利用していることを公に示せる環境を整えることで、対外的な信用度が向上した。

ライセンス管理の適正化

社内のデザインツールを一元管理できる体制が構築され、手間のかかるライセンス管理が合理化された。

データの共有化

共有ストレージの活用で、得意先との間や、社内スタッフ間でのデータのやりとりがスムーズになった。

クリエイティビティの向上

最新のツールがWEBコンテンツの制作精度と速度を高め、業務効率化と顧客満足の向上につながった。また、制作環境が統一されたため、社内教育が容易にできるようになった。

大野印刷株式会社

1946年創業

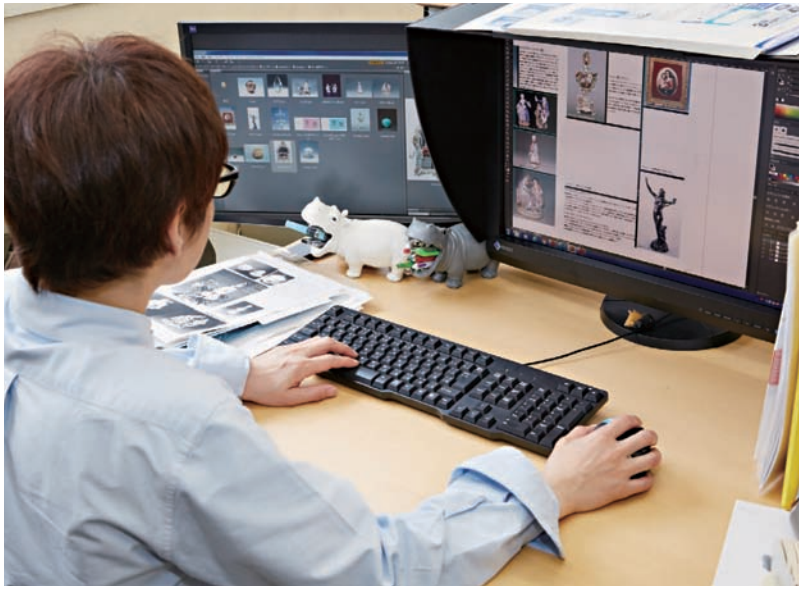
従業員：65名

東京都練馬区北町

http://www.ohnoprinting.co.jp/

課題

- 社員が利用する膨大な数のデザインツールを管理しきれない
- 最新のデザインツールによる実践的な社内教育体制構築
- 業務効率化と制作のスピードアップ



企画・制作から印刷まで多様な顧客ニーズに対応

大野印刷株式会社は、1946年創業（現社名への改組は1964年）という長い歴史を持つ総合印刷会社だ。オフセット印刷にもオンデマンド印刷にも対応できる設備を整え、幅広い印刷ニーズに応えている。「印刷業界は全体的に厳しい経営環境に置かれていますが、当社は大手自動車メーカーの四輪車の取扱説明書や整備解説書等の制作・印刷を主力事業の一角に据えることで、堅調な業績を保っています。そのためのテクニカルライターやイラストレーターを社内に擁し、高品質な制作物を短納期で提供できるのが特長です」と語るのは、専務取締役 テクニカルトランスレーターの大野 慎也氏。ほかにも同社は、中学・高校・大学のパンフレットや、大学の履修要綱の制作、教材の電子ブック化、各種営業ツールの制作、さらにはWEBの企画・制作も手がけるなど、印刷業務を基軸としながら、持ち前のクリエイティビティを発揮して多様な顧客サービスを展開している。

コンプライアンスの強化を推進

あらゆる業界でコンプライアンスの強化が求められるなか、同社は対外的な信用度向上のため、制作物が正規のデザインツールによってつくられたことを公表できる環境の構築に乗り出した。その過程で直面したのは、ライセンス管理の難しさである。「バージョンの異なるCreative Suiteや、単体で購入したPhotoshop、Illustratorなどが混在し、どのスタッフの端末にどのツールが入っているかを把握するのも困難な状況に陥っていました」と話すのは、総務部 購買課の川島 一秀氏。同社は制作スキル向上を図るための技能講習にも力を入れるようになっていたが、そのようなソフト利用状況では、多数のスタッフに適切な教育を施すことも困難だったという。そこで着目したのが、Creative Cloud Complete Planである。「さまざまな課題を一挙に解決できる手段」として、同社は30ライセンスの導入を決めた。

「最新かつ高機能なデザインツールを使えるようになったことで、多様化する顧客ニーズにしっかりと応えられる環境が整備されました」

専務取締役
テクニカルトランスレーター
大野 慎也氏

「ライセンス管理やソフト更新の予算立てがしやすくなりました。また、制作業務の効率とクオリティが格段にアップしたことを実感しています」

総務部 購買課
川島 一秀氏

ご利用のデザインツール

- Adobe Photoshop CC
- Adobe Illustrator CC
- Adove InDesign CC
- Adove Dreamweaver CC
- Adove Fireworks
- Adove Edge Animate CC
- Adove Lightroom CC

製品に関する詳細
www.adobe.com/jp/creativecloud/

Adobe

アドビ システムズ 株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
www.adobe.com/jp/

Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704
USA
www.adobe.com

万全のライセンス管理体制を構築

導入後は、各スタッフの使用するデザインツールをAdobe IDに紐づけての一元的な管理が可能になった。そのことがコンプライアンスの強化に貢献したのはもちろん、ソフトの契約更新の時期が明確になったことで、予算管理もしやすくなったと川島氏は語る。

スムーズなデータ共有環境で制作速度がアップ

近年はCreative Cloud Complete Planを導入する得意先が急増しているという。各種コンテンツ制作に必要なデータを得意先からスムーズに受け入れられるような体制が整ったのも、同社にとっての大きなメリットの1つだ。また、Creative Cloudメンバーに無償で提供される共有ストレージの利用により、得意先への文字校正の依頼などが手軽に行えるようになるとともに、社内で異なる制作プロセスを担当するスタッフ間のデータの受け渡しもスムーズになった。その結果、制作のスピードがアップし、スタッフの残業削減を促進することにもつながった。

WEB制作のクオリティが大幅に向上

「旧バージョンよりも高機能なPhotoshop やIllustrator は、WEB制作の精度を高めてくれました。HTML アニメーションを簡単に作成できるEdge Animateも使えるようになり、これまで外注していた動きのあるコンテンツの制作も内製できるようになりました」と、WEBコーディングも担当する川島氏。多彩なツールを駆使できる環境が、制作するコンテンツの質を大幅に向上させたのである。また、会社と自宅などの端末を同期させれば、パネルの配置なども含めてどこにいても同じ環境で利用できるのもCreative Cloudの魅力だ。そうした細かな導入効果も、業務の効率化に役立っているという。

高機能なツールを使いこなして事業を拡張

「Creative Cloudには、現時点では未活用のツールもたくさんあります。制作に携わる全スタッフが有用なツールを十分に活用できるようにすることで、さらなる業務品質の向上を図るのが今後の目標です」と大野氏。同社は、最近注目を集めているARコンテンツの将来性を見越し、その制作も積極的に受注しようとしている。Creative Cloudは、同社がそうした事業拡張を展開する上でも心強いパートナーとなってくれるはずだ。

Adobe, the Adobe logo, Creative Cloud, Illustrator, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated,in the United States and/or other countries.

© 2015 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.